

(11) 公開講義

- ・ 研修講座や教育研究において実施する主に外部講師による講義を公開します。
- ・ 研修講座の受講ではなく、講義の聴講として参加いただきます。研修講座の受講認定にはなりません。
- ・ 募集に関する詳細は、令和6年4月下旬にお知らせします。

教職教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.01	一人一人が育ち、集団をよりよくするための特別活動	8月19日(月)	13:10～14:40	文部科学省初等中等教育局視学官 安部 恭子	今この時期だからこそ特別活動の意義が見直され、活動内容が注目されています。文部科学省初等中等教育局視学官から特別活動の最新の動向を伺うとともに、県内各地で積極的に特別活動に取り組んでいる先生の実践を共有し、演習を行うことで、特別活動の大切さやこれから大切になっていくことについて理解を深めます。	小中高特	オンライン	100
No.02	道徳教育と主体的・対話的で深い学びに向けた道徳科の授業	10月29日(火)	9:40～11:10	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 堀田 竜次	教育活動全体を通じて行う道徳教育と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業改善について理解を深め、授業力の向上につなげます。	小中高特	オンライン	100

教科教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.03	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～	6月7日(金)	9:45～11:15	大妻女子大学教授 澤井 陽介	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	小	オンライン	50
No.04	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～	6月20日(木)	10:45～12:15	横浜国立大学名誉教授 高木 展郎	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	高	オンライン	50
No.05	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善	6月25日(火)	9:45～11:45	敬愛大学教授 向後 秀明	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	高	オンライン	50
No.06	これからの時代に求められる資質・能力を育成する学習指導～こどもたちのウェルビーイングを高めるために～	6月27日(木)	10:45～12:15	京都市総合教育センター指導室長 東良 雅人	今、教育を巡る社会背景がどのようになっているのか、今後どのような資質・能力が求められるのか、教科指導の観点からご講義いただきます。	中	オンライン	50
No.07	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善	7月10日(水)	9:45～11:45	熊本大学特任教授 前田 康裕	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	中	オンライン	50
No.08	主体的・対話的で深い学びの実現を促す授業改善	7月12日(金)	9:45～11:45	福島大学准教授 鳴川 哲也	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善について、豊富な事例を基にご講義いただきます。	小	オンライン	50
No.09	対話型鑑賞の可能性	7月26日(金)	10:00～12:00	武蔵野美術大学教授 三澤 一実	茨城県近代美術館を会場にして実施します。県内でも実践が広がっている対話型鑑賞。対話型鑑賞を通して育まれる資質・能力や可能性について、朝鑑賞等の事例を基にご講義いただきます。	小中高特	集合	100
No.10	思考力・判断力・表現力を育成する授業づくりと評価	8月19日(月)	10:00～12:00	専修大学教授 山下 直	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に関して理解を深め、実践的な指導力の向上を図ります。	中高特	オンライン	30
No.11	主体的・対話的で深い学びの実現を促す国語科の授業づくり	8月20日(火)	10:00～12:00	大妻女子大学教授 樺山 敏郎	主体的・対話的で深い学びを実現する国語科の授業づくりについての理解を深め、授業力向上につなげます。	小中特	オンライン	30
No.12	主体的・対話的で深い学びの実現を促す家庭科の授業づくり	8月21日(水)	10:00～11:30	茨城大学教授 佐藤 裕紀子	主体的・対話的で深い学びを実現する家庭科の授業づくりについての理解を深め、授業力向上につなげます。	小中高特	オンライン	50
No.13	技術・家庭科〔技術〕教育の現状と課題	8月22日(木)	10:00～11:30	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 渡邊 茂一	技術・家庭科〔技術分野〕の現状と課題を踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりについて理解を深め、授業力向上につなげます。	中	オンライン	50

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.14	主体的・対話的で深い学びの実現を促す学校図書館の在り方	8月22日(木)	10:00～11:30	放送大学客員教授 堀川 照代	学校図書館を活用した教育活動に関する実践的な内容や方法を学び、児童生徒の学習活動の充実を目指します。	小中高特	オンライン	20
No.15	児童生徒の日常を探究にする	8月23日(金)	9:45～11:45	認定NPO法人カタリバ 学校支援担当	児童生徒の日常の中に探究テーマとの出会いやヒントとなるきっかけを見出し、総合的な学習(探究)の時間、あるいは各教科における探究的な学びのデザインのために必要なことについて学んでいきます。	小中高特	オンライン	50
No.16	国語科の授業づくりと評価の改善	9月13日(金)	10:00～12:00	国立教育政策研究所学力 調査官・教育課程調査官 加藤 咲子	中学校国語科における、指導と評価の一体化について考えていきます。育成を目指す資質・能力を見取るための評価問題から、授業づくりや授業改善について学びます。	中特	オンライン	50
No.17	英語発信力向上を目指す授業づくり	10月2日(水)	10:00～11:30	文部科学省初等中等教育 局教科調査官 入之内 昌徳	小学校外国語活動・外国語科、中学校外国語(英語)科においては、言語活動を通して、児童生徒のコミュニケーションを図る資質・能力を育成することが求められています。英語を使いながら学ぶ帰納的なプロセスを重視し、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の発信力の向上を目的とした言語活動の設定について、文部科学省初等中等教育局調査官から全国の先進的な取組をご紹介します。	小中	オンライン	20
No.18	思考力・判断力・表現力を育成する学習指導と評価	1月16日(木)	13:30～15:30	専修大学教授 山下 直	指導と評価の一体化や主体的・対話的で深い学びの実現に関して理解を深め、実践的な指導力の向上を図ります。	中高特	オンライン	30
No.19	創造的な学びに着目した理科教育	2月6日(木)	13:30～15:30	玉川大学教授 久保田 善彦	マルチメディア教材やバーチャルリアリティ(VR)、仮想現実(AR)といった新しいテクノロジーを活用して教育におけるさまざまな問題の解決や改善を考えていく講義です。	中	オンライン	50
No.20	美術科の授業改善の共有	2月13日(木)	9:40～12:30	茨城県教育研修センター 指導主事	中堅教諭等〔前期〕資質向上研修講座(中学校、美術)(高等学校、美術・書道)の研修を通してつくり上げ、実践した授業の発表を行います。	小中高特	オンライン	50
No.21	創造的思考力を育むアート	2月13日(木)	13:30～15:30	武蔵野美術大学准教授 石川 卓磨	デザイン思考やアート思考など、これからの社会で求められるアートの力について、学校教育ではどのように育むことが大切であるか、学校と社会とのつながりについて学びます。	小中高特	オンライン	50
No.22	創造的な学びに着目した理科教育	2月13日(木)	13:30～15:30	日本大学教授 野内 頼一	新しい時代に必要とされる資質・能力を育成するために、高校理科教員は何かができるのか。様々な事例を参考に、これからの理科教育の在り方を考えます。	高	オンライン	20
No.23	豊かな情操を培う造形遊び	2月21日(金)	13:30～15:30	鳴門教育大学大学院教授 山田 芳明	小学校図画工作科における「造形遊び」の意義や魅力、授業づくりの工夫などについて、事例を基に学びます。	小中高特	オンライン	50

情報教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.24	新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現する一人1台端末の活用について	5月21日(火)	10:00～11:40	茨城大学教育学部 毛利 靖	新しい時代における子供たちの学びのスタイルとは何か、その際に、一人1台端末環境におけるICTはどのような役割を担っていくのか。新しい時代における子供たちの学びのスタイルを実現するための、一人1台端末の効果的な活用について理解を深めます。	小中高特	オンライン	100
No.25	新しい学びのスタイルの実現～ICT活用の視点から～	8月19日(月)	9:45～11:00	茨城大学准教授 小林 祐紀	本講座は、社会や学校のデジタル化の進展による新しい教育課題に対応するため、教育のデジタル化に関する基礎的な知識と技術の習得を図ることを目的としており、本年度のテーマは「新しい時代における学びのスタイル」です。本講義では、ICTの活用の視点から理解を深めます。	小中高特	オンライン	100
No.26	新しい学びのスタイルの実現～デジタル・シティズンシップ教育の視点から～	8月19日(月)	11:00～12:00	一般社団法人メディア教育研究室 今度 珠美	本講座は、社会や学校のデジタル化の進展による新しい教育課題に対応するため、教育のデジタル化に関する基礎的な知識と技術の習得を図ることを目的としており、本年度のテーマは「新しい時代における学びのスタイル」です。本講義では、デジタル・シティズンシップ教育の視点から理解を深めます。	小中高特	オンライン	100

教育相談に関する公開講義

- ・教育相談に関する公開講義は、全て[オンデマンド動画配信](#)となります。
- ・実施日は研修講座の実施日であり、講義動画を収録・編集した上で、[後日配信](#)いたします。

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.27	カウンセリングの基礎	7月25日(木) 8月19日(月) ※動画は 後日配信	9:45～ 11:45	筑波大学教授 杉江 征	相談者と信頼関係を築く態度について理解するとともに、話の聴き方の技法について学びます。これまで、茨城いのちの電話等の研修などを担当してきた教授の講義です（演習は視聴できません）。指定された期間内に動画を視聴するオンデマンド配信となります。	小中高特	オンデマンド	制限なし
No.28	学びの保障に向けた支援の充実	9月4日(水) ※動画は 後日配信	9:45～ 11:45	茨城大学准教授 金丸 隆太	不登校児童生徒数が増加し、学校内外の専門機関で相談・支援等を受けていない児童生徒も多く、喫緊の教育課題になっています。学校臨床を専門に研究し、長年に渡ってSCとして県内の児童生徒保護者の相談に関わっている講師の講義・演習を通して、今求められる支援について考えましょう。指定された期間内に動画を視聴するオンデマンド配信になります。	小中高特	オンデマンド	制限なし
No.29	思春期のこどもの心の危機と向き合う	10月9日(水) ※動画は 後日配信	9:45～ 11:45	東京都立大学准教授 勝又 陽太郎	『学校における自殺予防教育プログラムGRIP』の編者でもあり、自殺、自傷行為、自殺予防教育を専門とする講師から、思春期の児童生徒の特徴と適切な関わり方について学び、理解を深めましょう。指定された期間内に動画を視聴するオンデマンド配信になります。	小中高特	オンデマンド	制限なし

特別支援教育に関する公開講義

番号	講義名	実施日	時間	講師名	主な内容	対象校種	実施形態	募集定員
No.30	学びを支える自立活動～困難さを改善・克服するために～	8月8日(木)	10:00～ 12:00	江東区立豊洲北小学校統 括校長 喜多 好一	自立活動の指導における第一人者である喜多先生から自立活動について、基本的な考えについて学びます。児童生徒の困難さを改善・克服するためには、実態把握や目標の設定などどのように行えばよいのかなどについて考えます。	小中高	オンライン	100
No.31	グレーゾーンの児童生徒への支援の在り方～二次障害を防ぐために～	8月20日(火)	10:00～ 12:00	特別支援教育ネット代表 小栗 正幸	発達障害の症状がいくつか認められるものの、診断までには至っていない「グレーゾーン」の児童生徒がいます。グレーゾーンの児童生徒の二次障害を防ぐためには、どのような支援を行うとよいのかについて、法務技官としての経験が豊富な小栗先生より学びます。	小中高特	オンライン	100
No.32	障害の重い児童生徒の理解と支援	9月19日(木)	10:00～ 12:00	国立重度知的障害者総合 施設のぞみの園研究部長 日詰 正文	障害の重い児童生徒の中でも特に「強度行動障害」について学びます。「強度行動障害」の児童生徒についての理解を深め、日々悩まれている先生方の支援のヒントがみつかるはずです。	小中高特	オンライン	100
No.33	自立活動の指導における工夫・改善	10月11日(金)	10:00～ 12:00	文教大学准教授 北川 貴章	特別支援学校における自立活動について学びます。特別支援学校での最新の理論と実践に基づき、自立活動について理解を深めます。	特	オンライン	100
No.34	読み書き困難のある児童生徒への指導	11月1日(金)	10:00～ 12:00	筑波大学助教 三孟 亜美	全般的に知的発達に遅れがないのに読み書き困難がある「発達性ディスレクシア」について学びます。読み書き困難の背景や、児童生徒への具体的な指導方法について理解を深めます。	小中高特	オンライン	50
No.35	I C Tを活用した特別支援教育における授業づくり（基礎編）	11月20日(水)	10:00～ 12:00	島根県立大学准教授 水内 豊和	発達支援におけるI C T活用、アクセシビリティ支援を研究テーマとしている水内先生から、I C Tを活用した特別支援教育における授業づくりの基礎を学びます。	小中高特	オンライン	100

(12) 特別研修

ア 長期研修（内地留学）

a 目的

長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。

b 実施期間及び研究分野

3か月：令和6年9月25日（水）から令和6年12月24日（火）まで

6か月：令和6年9月25日（水）から令和7年3月24日（月）まで

研究分野	実施期間
○各教科に関する研究 国語、社会、地理歴史、公民、算数、数学、理科、生活、体育、保健体育、家庭、技術・家庭、音楽、図画工作、美術、芸術（音楽、美術）、外国語（英語）、情報、農業、工業、商業	3か月
○小学校における外国語活動に関する研究	3か月
○総合的な学習（探究）の時間に関する研究	3か月
○生徒指導に関する研究	3か月
○教育の情報化（ICTを活用した授業研究、プログラミング教育、ネットワークの教育利用、情報モラルの指導、校務の情報化、事例研究）に関する研究	3か月、6か月
○道徳に関する研究	3か月、6か月
○特別活動に関する研究	3か月、6か月
○教育課題（組織マネジメント、社会に開かれた教育課程、学校評価、カリキュラム・マネジメント、校内研修等）に関する研究	3か月、6か月
○学級（ホームルーム）経営に関する研究	3か月、6か月
○教育相談（人間関係づくり、個別対応・集団対応の在り方等）に関する研究	3か月
○特別支援教育（障害のある子供の教育相談、特別支援教育に係る調査研究及び教材開発等）に関する研究	3か月、6か月

イ スキルアップ研修

a 目的

指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は4月～9月の6か月間とし、通所研修は、計6回とする。

c 研修方法

研修は、校内研修を基本とし、教育研修センターへの通所研修を月1回実施する。

ウ 指導改善研修

a 目的

学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営上等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

b 研修期間

研修期間は原則として1年間、研修の開始時期は原則として4月とする。

c 研修方法

教育研修センターで実施する。ただし、研修の内容等によっては、所属校、所属校以外の学校及び学校以外の教育機関等においても実施する。